

健康へのメッセージ

在宅医療とは

現在の医療制度は、病気になる患者さんが入院する病棟として、急性期・高度医療を担当する急性期病床と、病気が慢性期になったがまだ医療が必要な場合に入院する医療養病棟の2つに分けられています。後者は、麻痺や筋力低下に対するリハビリテーションを行っている、酸素吸入が不可欠、気管切開をしている、経口摂取が無理のために毎日点滴が必要、鼻腔から食道を介して、または直接お腹の皮膚から胃の中に管を入れる経管栄養が必要な患者さんたちです。

病気が完全に回復すると健康な方は以前の体に戻り、通常の生活に復帰します。しかし、多くの病気を併せ持つ高齢者に起きた脳梗塞や脳出血、心筋梗塞、肺炎などの場合には後遺症が強く残る場合があります。軽症で自宅に帰

れる場合でも、病院に通院治療が必要となります。今回述べる在宅医療とは、通院が困難な病気の状態の医療を指します。それまで通院していた患者さんが徐々に足腰が衰え、通院困難になった場合に始まる往診や訪問診療が大部分を占めます。また入院治療が行われた場合に、点滴や酸素吸入などが不必要になったが寝たきりになり長期入院が続いた場合には、おうちに帰ることを目的として在宅医療が選択されることがあります。医療よりも介護が中心となります。

現在、政府は長期の療養に対する在宅医療を奨励、推進しています。患者さんが生活した空間に帰す「おうちが一番」と盛んに宣伝しています。その根幹には医療費の節約があります。それは、病院に入院することよりも在宅のほうが医療費が割安だからです。在宅が困難な場合に施設入所があります。十分な介護をすることが可能な特別養護老人ホームや介護施設ができていますが、未だ不足して

り、多数の入所待ち患者さんがいるのが現状です。在宅医療の良い点は、なんといたって住み慣れた自宅で自由に生活できることです。欠点は、介護が中心の生活です。その家に介護の力が必要とされます。平成12年に始まった介護保険により、ヘルパーさんや在宅リハビリ、毎週1〜2回のデイサービス、時には数日間入所するショートステイを利用することで家族の方の疲れはだいぶ解消されていますが、やはり毎日の在宅介護は大変です。

楽しい在宅医療もあります。いざという時に入所できる施設が少ないのが問題です。冠婚葬祭や農繁期などの忙しい時期には、介護力の低下は否定できません。介護者が病気になる場合もあります。いつでも要望に応じて、一定期間の入所が可能な体制ができることが高齢者の医療・介護には必要と思われれます。

◆救急当番日

12月29日(月)・1月2日(金)
午前8時30分〜
午後5時15分

◆問い合わせ

東陽病院 ☎13335

URL: www1.ocn.ne.jp/~toyohp/

外来日程表 ※12月から金曜日の皮膚科診療時間が変更になりました。受診の際はご注意ください。

診療科	午前								午後		
	受付 午前8時30分~11時30分								受付 午後1時~3時		
	診察開始 午前9時~							午前10時30分~	診察開始 午後1時30分~		
曜日	内科	外科	整形外科	婦人科	泌尿器科	皮膚科	脳神経外科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	
月	呼吸器 千葉大	(院長) 伊藤	安倍	田内	伊地知				千葉大		
火	森居	(院長) 伊藤	安倍	田内	伊地知	佐藤	大屋	千葉大			
水	瀬座	(院長) 伊藤	安倍	田内	伊地知				千葉大	花澤	
木	循環器 千葉大	瀬座	前田	田内							
金	森居	太和田	千葉大	田内 第2・4休診	伊地知		千葉大			國井	

※整形外科 第2・4金曜日は休診です。

※婦人科 毎週木曜日は休診です。